

令和元年度 協働事業の提案支援モデル事業

(事業期間：平成29年度から令和元年度の3か年事業)

パワポ資料

<団体名・テーマ>

○ 特定非営利活動法人 肺がん患者の会ワンステップ

「学校でのがん教育に向けたがん患者外部講師の育成モデル事業」

○ NPO法人 のはらネットワーク

「ちょこっと子育てレスキュー隊」

○ てんでんこプロジェクト（金沢区災害ボランティアネットワーク）

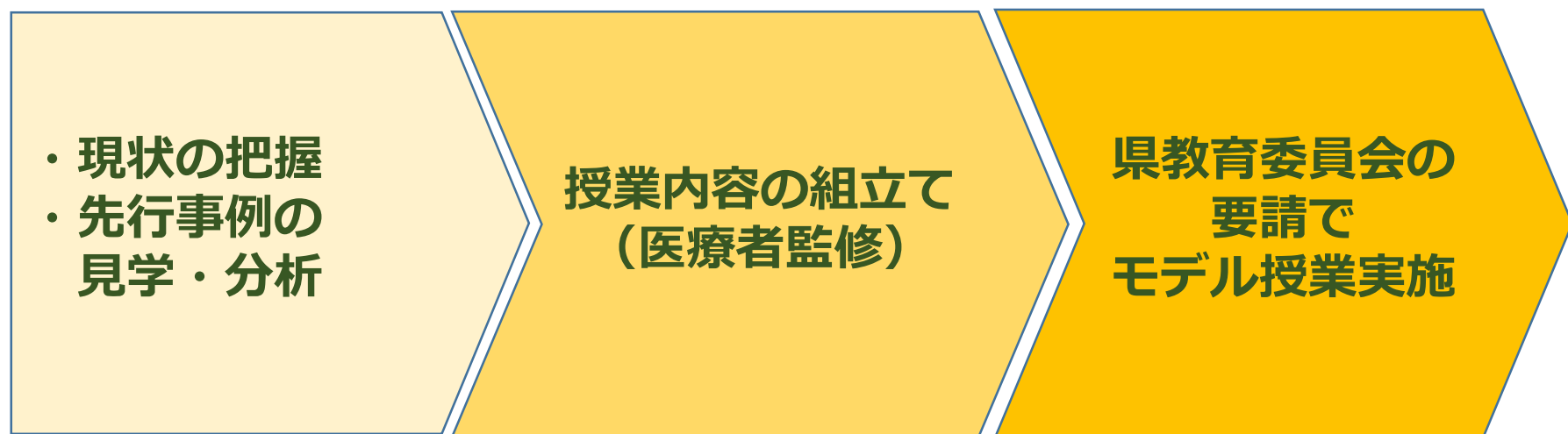
「地域の子ども・青少年の防災力向上のための事業」

学校でのがん教育に向けた  
がん患者外部講師の育成モデル事業  
横浜市市民局「協働事業の提案支援モデル事業」



NPO法人 肺がん患者の会  
ワンステップ


# 昨年度(平成30年度)の取り組み例



## 課題

- ・各団体が授業依頼をそれぞれ受託（効率や質）  
⇒同じ目的を持つ仲間と共に共通の課題に取り組む

# 一般社団法人 神奈川県がん患者団体連合会を設立 (2019年1月)

- 
- 一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン●
  - NPO法人肺がん患者の会ワンステップ●
  - 神奈川県立がんセンター患者会「コスモス」●
  - 相模原協同病院がん患者会「富貴草」●
  - あけぼの神奈川●
  - 一般社団法人ピアリング●
  - 頭頸部がん患者と家族の会「Nicotto(ニコット)」●
  - おしゃべりバディー●
  - 聖マリアンナ医科大学病院
  - 乳がん体験者の会「マリアリボン」●
  - ハートプレイス●
  - ピサポートよこはま●
  - 若手がん患者会 ローズマリー●
  - Company de company●
  - GISTERS神奈川●
- <計14団体>

# 今年度の取り組み結果

## (1)外部講師の育成 研修の実施

- ①がん教育研修  
(4日間)
- ②フォローアップ研修  
(2日間)

## (2)がん教育の実施 授業(7校)

- ・モデル授業 3校
- ・直接依頼 2校
- ・自治体の保健師さん  
からの依頼 2校

## (3)外部講師の見える化 外部講師の紹介冊子

- ・外部講師の  
リスト化
- ・冊子作成

## +信頼関係の構築

横浜市、川崎市、神奈川県教育委員会、横浜市教育委員会、神奈川県、  
学校関係者、保健師、医療者、がん教育協議会など

※フォローアップ研修 (2日間)はコロナウイルス対策のため、中止としました

# (1)外部講師の育成

## <がん教育研修>

4日間のがん教育研修を開催。  
外部講師希望者だけでなく、  
学校関係者や行政担当者も多数参加。



### がん教育研修1日目(10月5日)

#### ◆講演

- ①「がん教育への期待」  
杉崎弘周先生(新潟医療福祉大学)
- ②「がん教育の実践について～行政の立場から」  
藤至光先生(横浜市教育委員会事務局小中学校)
- ③「子ども達に伝えるがんの知識とは」  
片山佳代子先生(県立がんセンター臨床研究所)



#### ◆模擬授業

- ①「実践例～医療者外部講師の場合」  
成島道昭氏(昭和大学横浜市北部病院)
- ②「実践例～がん患者外部講師の場合」  
長谷川一男氏(肺がん患者の会ワンステップ)
- ③「実践例～がん患者外部講師の場合」  
泉川しずか氏(キャンサーサポート福岡)





## がん教育研修2日目(10月20日)

### ◆ワークショップ

行政、学校関係者を含んだグループでワークショップを行いました。

- ①「がん患者ってどういう人？」
- ②「専門用語をどうわかりやすく伝えるか？」
- ③「配慮すべきことは何か？」
- ④「実際に伝えてみる」

※ここまでの参加者は  
外部講師希望者25名 学校関係者10名

## がん教育研修3・4日目(11月4日、9日)

### ◆外部講師希望者による模擬授業

これまで学んだことを活かして自分の経験20分で発表。目的を意識しながら、参加者同士でフィードバックを行うとともに、チェック項目にポイントをつけていきました。

結果、外部講師希望者18名が修了

# (1)外部講師の育成 <フォローアップ研修>

がん教育研修を受講した外部講師向けにフォローアップ研修を実施予定。  
実践を意識したプログラムを実施。

## フォローアップ研修1日目(3月8日)

### ◆ワークショップ

「がん教育の実践編」

助友 裕子先生(日本女子体育大学)

### ◆講演

①「令和元年度 神奈川県のがん教育を振り返って」

長屋洋志先生(神奈川県教育委員会)

②「がん教育の実践について～教育の現場から」

永井真樹先生(横浜市瀬谷中学校)

③「外部講師に期待すること」

片山佳代子先生(神奈川県立がんセンター)

### ◆講座

スライド作成ワンポイント講座+Q&A

岩澤玉青氏(乳がん体験者の会マリアリボン)

## フォローアップ研修2日目(3月14日)

### ◆ワークショップ

「心をつかむ話し方講座」

佐々木美佳氏(フリーアナウンサー)

### ◆外部講師希望者による模擬授業経験

これまで学んだことを活かして自分の経験20分を見直し模擬授業を作成。参加者の前で発表。

※フォローアップ研修 (2日間)はコロナウイルス対策のため、中止としました



## (2)がん教育の実施

### 授業実施(7校)

モデル授業 3校、直接依頼 2校、自治体の保健師さんからの依頼 2校

### 授業の構成

- ①教師+がん経験者講師
- ②医師+がん経験者講師
- ③がん経験者講師

### がん経験者講師の担当

- ①経験談、②経験談+Q&A
- ③経験談+話し合い活動
- ④Q&A
- ⑤知識+経験談



**学校側の要望は多様、事前の打ち合わせが重要**

# ※冊子に詳細な事例が5つあります

## 実践例①

保健体育



医療者＋がん経験者外部講師

知識＋経験談



### 概要

人数 約340人

対象 中学2年生、3年生

時間 第3校時 2年生／第4校時 3年生  
※1年生は第2校時に医療者のみで実施

場所 体育館

目標 **基礎知識:**

がんについて正しく理解できるようにする

**経験談:**

健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

### 構成

計 50 分授業

●講師紹介、導入(2、3年学年担任) 5分

●**がんの基礎知識(医師) 20分**  
・がんとは(発生のしくみ、原因等)  
・我が国、神奈川県のがんの状況  
・予防・早期発見・がん検診  
・がんの治療法

●**がんの経験談(がん患者) 20分**  
「光の先に見えた景色」  
・がんになった経緯  
・子どもも治療もあきらめないために私がしたこと  
・乳がん治療と副作用  
・これまで通り接し支えてくれた人たち  
・「がん」と「がん患者」の正しい理解  
・諦めても、失っても、また希望は生まれる  
・助けを求めること、手を差し伸べることの大切さ  
(がん患者の生活の質、理解と共生を中心に構成)

●まとめ 5分

### 授業を終えて

**養護教諭**

がん経験者の方に講師を依頼するにあたり、よくも悪くも与える印象が強い事や、どういった方がいらっしゃるかわからないと不安がありました。それでも「がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めること」には、経験談が効果的な教材であると考えました。

事前打合わせや資料の準備等細やかなご連絡をいただき、本校の実態に合った講演をしていただき大変ありがとうございました。また、外部講師の人の心を惹きつけるお話に、他の職員も感心しておりました。

# ※冊子に詳細な事例が5つあります

## 実践例②

### 総合学習



教師+がん経験者外部講師

知識+経験談+話し合い活動



### 概要

人数 139人 4クラス

対象 中学2年生

時間 第5校時～第6校時

場所 体育館

目標 がんについての正しい知識を得る  
命の大切さについて考える



### 構成

計 65分授業

●がんに対する知識(保健体育教諭) 20分

- ・がんとは(がんの要因等)
- ・がんの予防
- ・がんの早期発見・がん検診
- ・がんの治療法

●がんの経験談(がん患者) 20分  
「もっと知ろう!がんのこと」

- ・がんになった経緯
- ・苦しみの中で支えてくれたもの
- ・たばこ、受動喫煙の恐ろしさ
- ・今を精一杯生きることの大切さ

●ワークショップ・話し合い活動 10分  
周囲はどのようなサポートが可能か?

●まとめ・代表挨拶 5分

### 授業を終えて

#### 教師

普段からの信頼関係を存分に生かし内容が心に届くように努めました。

生徒たちは、温かくも真剣な様子で、話を聴いたりワークショップに取り組んだりしていました。

また、実際に自分ができることは何だろうか、様々な場面を想定して考えることができたのは、生徒たちにとって大きな財産になったのではないかと思います。

# ※冊子に詳細な事例が5つあります

## 実践例③

保健



がん経験者外部講師のみ

知識+経験談+Q&A



### 概要

人数 510人 13クラス  
対象 高校1年生  
時間 第5校時～第6校時  
場所 体育館  
目標 がんについての正しい知識を得る  
命の大切さについて考える

### 構成

計 50分授業

- がんに対する知識 10分
  - ・がんとは(がんの要因等)
  - ・日本(神奈川)におけるがんの状況
  - ・がんの予防
  - ・がんの早期発見・がん検診
  - ・がんの治療法
  - ・がん治療における緩和ケア
  - ・がん患者への理解と共生
- がんの経験談 40分  
「若年がんを経験して生きていくということ」
  - ・わたしの病歴
  - ・治療後の問題点
  - ・患者経験を活かして
- 質疑応答

### 授業を終えて

外部講師(がん経験者)

大勢に話すからこそ、がん患者が身近に感じられるように心がけました。

がんの知識は複雑で難しいのがん患者の偏見につながらないように考慮し、質問形式にすることで「自分ごと」として考えていただけました。

経験談の話になったとたんに集中して聞いていた姿が印象的でした。

# (3)外部講師の見える化

## 冊子作成

- ・ 外部講師のリスト化
- ・ 外部講師紹介
- ・ がん教育の実践例
- ・ がん教育関係者のコメントなど

## 横浜市立の学校への配布



# 今後の課題


- ①外部講師の質・数の担保
- ②主体である学校関係者の理解・知識不足
- ③派遣するしくみの構築
- ④がん教育実施の予算、科目



- 事業1. 学校のがん教育責任者・担当者  
&外部講師（がん経験者）養成研修事業
- 事業2. 講師の派遣/実施
- 事業3. みなとみらいでのがん教育普及イベント  
(協賛企業が付き、検討中。一緒をお願いします！)

※神奈川県 基金21を獲得 今後3年間の活動資金を得ました

協働ありがとうございました。  
これからもお願いいたします！

A young child is climbing a wooden staircase in a lush green forest. The child is wearing a dark t-shirt and blue jeans. The background is filled with dense green foliage and sunlight filtering through the trees.

知るから始める  
がんのこと  
～未来のために伝えたい～

一般社団法人神奈川県がん患者団体連合会

がん教育ハンドブック  
外部講師（がん経験者）の紹介



# わたしたちの役割

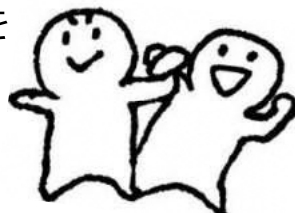
文部科学省より2015年に公表された「学校におけるがん教育の在り方について（報告）」では、「がん」について「がんについて正しく理解することができるようにする」「健康と命の大教育の目標切さについて主体的に考えることができるようにする」とされています。

## 「がん教育」におけるがん経験者の語り

報告書では「がんに関する科学的根拠に基づいた知識などの専門的な内容を含むがん教育を進めるに当たって、学校医や医療者などの外部講師の参加・協力を推進するなど、多様な指導方法の工夫を行うよう配慮する。がん経験者等の外部講師の参加・協力を推進する」とされており、外部講師の活用が推奨されています。

がんの知識の普及や啓発について、医師などの外部講師が果たす役割が大きいです。が、「がん患者はどのように治療を受け、どのように生活をしているのか」「がん患者はどのようなことを考えどのような思いをもっているのか」ということへの理解については、がん経験者による「語り」の果たす役割が大きいと考えられます。

私たちは、自分たちの経験を社会的な価値と捉え、その声を教育現場から発信することにより、子どもたちに伝えていくことでがんの予防や検診、治療に関する啓発に貢献していきたいとの思いからこの度立ち上がりました。



## ごあいさつ



一般社団法人神奈川県がん患者団体連合会

理事長 天野 慎介

一般社団法人神奈川県がん患者団体連合会(県がん連)は、神奈川県内のがん患者団体の連合体組織として、がん患者団体の連携や活動の促進を図りつつ、がん患者と家族の治療やケア、生活や社会における課題の解決に取り組む、がん医療の向上とがんになっても安心して暮らせる社会を築くことを目指している、非営利型の一般社団法人です。14団体が加盟し、加盟団体の会員数は約9,000人です(2019年12月末現在)。

# 「がん教育ハンドブック」とは

文部科学省より2016年に公表された「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」には「健康や命の大切さをねらいとした場合は、がん患者やがん経験者による指導も効果的と考えられる」とあります。それを受けて、さまざまながんを経験した外部講師たちをここにリストアップ。さらに依頼の仕方や授業の構成などをこの1冊に盛り込みました。

同ガイドラインには「外部講師としての活用が考えられる地域の専門家等の中から学校における講演等の実施者として相応の者をリストアップし、外部講師を活用したがん教育の実施に向け、必要に応じて教育委員会等を通じ、学校との日程調整の支援等を行うこと」とあります。がん経験者ががん教育の現場で話をする際に、配慮などを考えずに経験談を語った場合、それが児童生徒に「強い印象」を与えてしまうかもしれません。

がん教育を初めて行う学校は、どんな話をするのか、生徒の心情に配慮をしてもらえるのかそもそも誰に依頼をすればいいのか、ということに悩む可能性があります。

それを解決するために、がん教育に関わる専門の医療関係者や教育関係者などを講師として実施した「がん教育研修会」の修了者をリストアップ。よりよいがん教育を築いていくためにこのハンドブックを作成しました。

## 2人に1人ががんになると言われている現代

インターネットなどの普及などによってさまざまながん情報が提供されていますがその情報のすべてが正しいものとは限らず、正しい知識を身に着ける機会はとても少ないのが現状です。ある日突然がんを告知され、慌てたりどうしてよいか分からなくなったりすることもあります。

そうならないためにも、経験者が教育現場で語ることで、正しい知識を学び、がん患者に対する理解を深めてほしいと願っています。がんをむやみに怖がったり、がん経験者やその周囲に対する偏見を持ったりすることをなくしたいと思っています。

そして、がん以外の様々な疾病や「生きづらさ」を抱えている現代において、誰もが暮らしやすい社会を築いていくことを目指します。子どもたちの希望ある将来に繋げるために。



# 「健康と命の大切さ」を実感した 経験者ならではのストーリーががん教育のカギに



東大病院 放射線科准教授/放射線治療部門長  
神奈川県がん教育協議会 座長

**中川 恵一先生**

がんは他人ごとではありません。年間100万人近くの人が新たにがんと診断されています。日本ではなぜ増えているのでしょうか。

高齢化のほか、日本人ががんを知らないことが原因と考えます。

がんはわずかな知識と、それに基づく行動によって、大きく運命を変えることができる病気だからです。切り札はがんを防ぐ生活習慣と早期発見のためのがん検診をセットで行うこと。がん教育の現場において、教育関係者、医療者、患者さんと共に、その目的に向かい走り始めています。神奈川県で大きく動き始めたがん教育。それを知る一つの手段として、ぜひこの冊子を手にとってみてください。



神奈川県立がんセンター臨床研究所  
がん教育・がんサバイバーシップ支援研究ユニット長、博士(医学)  
神奈川県がん教育協議会 委員

**片山 佳代子先生**

文科省は、がん教育外部講師として「医療従事者とがん経験者」をあげています。中でも健康や命の大切さをねらいとした場合は、がん経験者らによる指導も効果的であると明記しています。そして、今回の学習指導要領改訂の中核にあるのは「社会に開かれた教育課程」です。

ぜひ、限られた時間数の中で教科間の繋がりを利用し地域・家庭と連携しながら、がん教育を単なる知識の伝授だけでなく、命や健康のことを考え予測困難な時代を生きる力に変える、そんな教材として扱ってほしいと願っています。本冊子は、こうしたがん教育を実践するための必読書です！

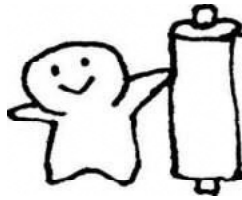


日本女子体育大学教授  
文部科学省中学校学習指導要領解説保健体育編(平成29年7月)作成協力者  
神奈川県がん教育協議会 委員

**助友 裕子先生**

たばこやお酒はがんになるリスクを高めると言われますが、がん患者はたばこやお酒をやりすぎた人ばかりでしょうか？私は、保健体育科教員の養成に携わっていますが現職の先生方からも、この矛盾について多くの問合せをいただきます。

健康と命の大切さを実感したがん患者ならではのストーリーから、「疾病等のリスク」を正しく学びましょう。



P5

## がん教育の実践例をご紹介します

横浜市立  
南希望ヶ丘  
中学校

横浜市立  
すすき野  
中学校

湘南学院  
高等学校

神奈川県立  
二宮高校

横浜市立  
南戸塚中学校



P10

### ご依頼の方法

P11

### がん経験者外部講師ご紹介

さまざまながんの経験者が自分の経験を通して子どもたちに語ります。私たちはがん経験者やその家族ですが、同時に子どもの成長を見守る親であったり、仕事をこなしていたりと、みなさんと変わらない日常生活を送っています。



P30

### よりよい授業を作るために

「がん教育」を行うことで、子どもたちの明るい未来に貢献するために、教育関係者(教諭・保健師など)と共に、4日間の研修を行いました。



P28

### がん教育をともに築くために

- ・授業枠や単位について
- ・講師料 ・交通費について
- ・「配慮」について etc



わたしたちにお任せください!

## 実践例①

# 保健体育

横浜市立すすき野中学校

教師+がん経験者外部講師

知識+経験談+Q&A



## 概要

日時 2019年12月13日(金)

人数 約250人

対象 中学2年生、3年生

時間 第3校時 3年生／第4校時 2年生

場所 体育館

目標 **基礎知識**

がんについて正しく理解し、予防について考えられるようにする  
自分や、身近な人、社会のために  
どんなことができるのか考える

**経験談**

がん患者のことを知ることで、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする



## 構成

計 50 分授業

●がんの基礎知識(学校教諭) 7分

①3学年教諭 2学年教諭

ねらい:がんは死因1位、がんの原因

②養護教諭

がんの発生のしくみ

●がんの経験談(がん経験者) 25分

「光の先に見えた景色」

- ・がんになった経緯
- ・あきらめないために私がしたこと
- ・乳がん治療と副作用
- ・「がん」と「がん患者」の正しい理解の大切さ
- ・新たな試練～リンパ浮腫になって～
- ・諦めても、失っても、また希望は生まれる
- ・助けを求める事、手を差し伸べる事の大切さ

●教えてください(質問 生徒／回答 講師)10分

がんと知った時の気持ち。一番辛かったこと。  
支えになったこと。嬉しかったこと。お金のこと。  
がんにならないために気を付けること。

●まとめ(3学年教諭 2学年教諭) 8分

- ・がんの種類、治療、治療選択の大切さ、感想記入
- ・保健委員より講師へのお礼の言葉

## 授業を終えて

藤野 俊子先生



横浜市立  
すすき野中学校  
養護教諭

保健体育科の授業にチームティーチングで参加しました。

生徒はがんの知識だけでなく、岩澤さんの経験談を聞きながら、がんになった人の気持ちを理解しようとしていました。

この学習で感じたことや思ったことを様々な場面で生かし大切にしてくれたいと思います。

長屋 洋志先生



神奈川県  
教育委員会  
指導主事

事前打合わせを前月に学校で実施しました。

打合わせ当初から、学校のニーズが明確であったことから、岩澤さんも授業のイメージがしやすかったのではないのでしょうか。

外部講師の活用を計画する際は学校と協力をしながら、様々な授業立案を模索していくことが重要で、今回はその良い見本となるような授業づくりができていたと感じました。

岩澤 玉青さん



外部講師  
乳がん経験者

学校側のご要望やご意見を伺いながら、25分の経験談と、生徒の質問に外部講師が答えるQ&Aの構成になりました。

生徒全員がとても真剣に聞き入ってくれ、「がんに対し暗いイメージだったが希望を持って生きられることを知った」「身近な人ががんになったら支えられる人になりたい」「1日1日を大切にしたい」等の感想が寄せられました。

## 実践例②

# 保健

神奈川県立二宮高等学校

教師+がん経験者外部講師

知識+経験談+Q&A



### 概要

日時 2019年11月14日(木)  
人数 40人 1クラス  
対象 高校1年生  
時間 第2校時  
場所 視聴覚室  
目標 **基礎知識**  
がんの疾病概念や予防等について  
基本的な知識を身に付ける

#### 経験談

がん患者に関わる諸問題に関心を  
持ち互いに支え合おうとする心を育む



### 授業を終えて

村中 優大先生  
神奈川県立  
二宮高等学校  
保健体育教諭



がんは「怖い」「絶対治らない」というイメージを持っていた生徒が多くいましたが、授業後の指導ではがんに対して前向きな感想を持てるようになった生徒が増えました。

講師との対話の時間では、普段あまり見ることのない生徒の真剣な表情がとても印象的で、生徒が自ら学ぼうという姿勢を感じ取ることができました。ありがとうございました。

杉崎 弘周先生  
新潟医療福祉  
大学健康科学部  
准教授



授業導入では、保健体育教諭がクイズやアニメーションを交えて基本的な知識を効果的に伝えていました。

授業後半、ゲストティーチャーが生徒の質問に答える形式で進めたことで交流のある学習活動が実現。生徒にMCと質問者を任せたことは主体的に学ぶための工夫と言えます。全体を通して提案性のある授業でした。

### 構成

計 50 分授業

がんの基礎知識(保健体育教諭) 20分

①導入 I :日本人に〇人に1人クイズ  
(何人にひとりがあてはまるか)

身近な事象でクイズを出す。最後にがんに罹る人の割合を示し、がんが身近な病気であることを印象付ける。

②導入 II :がんの疾病概念を理解する

(1)がんの発生(2)がんの進行  
(3)がんの原因(4)がん検診の必要性を確認

がん経験者への質問(がん経験者) 30分

展開:生徒2人がMCとして前に出て、全員から質問を受け、それに答える形式

あらかじめ募集した11問の質問に答えを用意  
(MCの生徒、先生のランダム質問にも答えた)

まとめ<がんを防ぐための新12カ条>の説明

長屋 洋志先生  
神奈川県教育  
委員会  
指導主事



事前打合わせを3週間前に学校で実施し、高校の様子や学校側が外部講師に求めるニーズや配慮事項、講話内容について村中教諭と外部講師の松沢さんと共に話し合いました。実施日まではメールを用い、指導案使用資料、生徒からの質問事項を相互に確認しました。村中教諭のテンポ良い導入から生徒主体の授業内容が展開でき、有意義な授業となりました。

松沢千恵子さん  
外部講師  
乳がん経験者



生徒が主体、先生とがん経験者が一緒につくる授業は新鮮でした。

楽しい先生の導入とMC役の生徒の陰で、皆さんとても熱心に取り組んでくれました。事前に先生が、生徒ががんについてのイメージや質問したいことを聞いていただいたことでスライドは作りやすかったです。ありがとうございました。

## 実践例③

### 総合学習

横浜市立南希望ヶ丘中学校

教師+がん経験者外部講師

知識+経験談+話し合い活動



#### 概要

日時 2019年12月10日(火)  
人数 139人 4クラス  
対象 中学2年生  
時間 第5校時～第6校時  
場所 体育館  
目標 がんについての正しい知識を得る  
命の大切さについて考える



#### 構成

計 65 分授業

- がんに対する知識(保健体育教諭) 30分
  - ・がんとは(がんの要因等)
  - ・がんの予防
  - ・がんの早期発見・がん検診
  - ・がんの治療法
- がんの経験談(がん経験者) 20分  
「もっと知ろう!がんのこと」
  - ・がんになった経緯
  - ・苦しみの中で支えてくれたもの
  - ・たばこ、受動喫煙の恐ろしさ
  - ・今を精一杯生きることの大切さ
- ワークショップ・話し合い活動10分  
周囲はどのようなサポートが可能か?
- まとめ・代表挨拶 5分
- 各クラスに移動 15分
- 振り返り・感想記入 20分

#### 授業を終えて

土田 直美先生



横浜市立  
南希望ヶ丘中学校  
養護教諭

がんという病気を通して「生きていくこと」を考えて欲しいと願っています。長谷川さんのお話は温かく且つ生きることについて正面から向き合い力強さを感じます。生徒はその言葉や思いを真摯に受け止めていました。

今後、彼らの生き方を助けるものになるに違いありません。質問や意見が多く出たことは、教師と長谷川さんが一緒に実施した成果だと確信しています。

井上 武士先生



横浜市立  
南希望ヶ丘中学校  
保健体育教諭

普段からの信頼関係を存分に生かし内容が心に届くように努めました。生徒たちは、温かくも真剣な様子で、話を聴いたりワークショップに取り組んだりしていました。

また、実際に自分ができるとは何だろうか、様々な場面を想定して考えることができたのは、生徒たちにとって大きな財産になったのではないかと思います。

長谷川 一男さん



外部講師  
肺がん経験者

生徒に考えを深めて欲しい。その思いから話し合い活動を取り入れる事に。

「考えたこともない」

「他人の意見が自分と違う」

「自分事として考えられた」

という感想が届きました。

その後、挙手での質問も多く積極的に参加してくれた印象を持ちました。

## 実践例④

# 保健体育

横浜市立南戸塚中学校

医療者+がん経験者外部講師

知識+経験談



### 概要

日時 2019年11月26日(火)

人数 約340人

対象 中学2年生、3年生

時間 第3校時 2年生／第4校時 3年生

※1年生は第2校時に医療者のみで実施

場所 体育館

目標 基礎知識

がんについて正しく理解できるようにする

### 経験談

健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする



### 授業を終えて

岡田愛美先生

横浜市立  
南戸塚中学校  
養護教諭



がん経験者の方に講師を依頼するにあたり、よくも悪くも与える印象が強い事や、どういった方がいらっしゃるかわからないと不安がありました。それでも「がんと向き合う人々に対する共感的な理解を深めること」には、経験談が効果的な教材であると考えました。

事前打合わせや資料の準備等細やかなご連絡をいただき、本校の実態に合った講演をしていただき大変ありがたかったです。また、岩澤様の人の心を惹きつけるお話に、他の職員も感心しておりました。

山下 由希さん

横浜市戸塚区  
保健師



戸塚区では、区民向けにがん講演会を行ってきましたが、がん予防には若いうちからの生活習慣が大切であることを伝えるため、令和元年度は中学生を対象にがん教育を実施しました。

がんについての知識も大切ですが経験談は生徒が話に引き込まれ、がんを身近なこととして捉え、家族にまで思いをはせることができると感じました。生徒が家庭で話すことで、働き子育て世代へのアプローチもできると期待しています。

### 構成

計 50 分授業

●講師紹介、導入(2、3年学年担任) 5分

●がんの基礎知識(医師) 20分

- ・がんとは(発生のしくみ、原因等)
- ・我が国、神奈川県のがんの状況
- ・予防・早期発見・がん検診
- ・がんの治療法

●がんの経験談(がん経験者) 20分

「光の先に見えた景色」

- ・がんになった経緯
- ・こどもも治療もあきらめないために私がしたこと
- ・乳がん治療と副作用
- ・これまで通り接し支えてくれた人たち
- ・「がん」と「がん患者」の正しい理解
- ・諦めても、失っても、また希望は生まれる
- ・助けを求めること、手を差し伸べることの大切さ(がん患者の生活の質、理解と共生を中心に構成)

●まとめ 5分

岩澤 玉青さん

外部講師  
乳がん経験者



がん教育を初めて実施される学校で、事前打ち合わせはもちろん、何度もやりとりを重ねながら授業に至りました。先生方から積極的にご要望やご意見を頂けたことで、より南戸塚中に合った授業になったと感じます。

当日は生徒全員が真剣に話に耳を傾けてくれ、「がんに対する見方が変わった」「将来自分もがんになるかもしれないので今日のことを忘れない」「自分も周りのがんの人を助けられる人になりたい」等、たくさんの感想を寄せてくれました。



## 実践例⑤

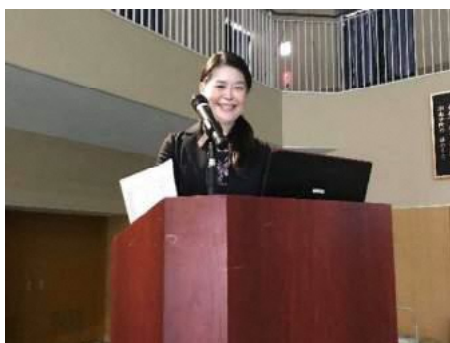
# 保健

湘南学院高等学校  
がん経験者外部講師のみ  
知識+経験談+Q&A



### 概要

日時 2018年12月7日(金)  
人数 510人 13クラス  
対象 高校1年生  
時間 第5校時～第6校時  
場所 体育館  
目標 がんについての正しい知識を得る  
命の大切さについて考える



### 構成

#### 計 50 分授業

- がんに対する知識 10分
  - ・がんとは(がんの要因等)
  - ・日本(神奈川)におけるがんの状況
  - ・がんの予防
  - ・がんの早期発見・がん検診
  - ・がんの治療法
  - ・がん治療における緩和ケア
  - ・がん患者への理解と共生
- がんの経験談 40分  
「若年がんを経験して生きていくということ」
  - ・わたしの病歴
  - ・治療後の問題点
  - ・患者経験を活かして
- 質疑応答

## 授業を終えて

### 鈴木 昭和先生

湘南学院高等学校  
教頭



実施前は必要な教育だとはいえ授業以外で時間を確保したり事前事後に打ち合わせたり、大変だと感じました。しかし生徒への県の様式のアンケートは、簡便で、生徒にも教育効果が高かったのが良かったです。偶然にも、入学前に急性白血病になった生徒が在籍しており、講演会の出席は不向きではないかという本校側の懸念もありましたが本人・保護者、講演者側にも伝え配慮がありました。

### 山森 隆広先生

湘南学院高等学校  
保健体育科主任



「保健体育科(科目/保健)」の年間教育課程に今後位置づけられる分野であり、一過性になりやすいが、こういう形で病気に罹った方々ご本人がお話くださるインパクトは、ずっと大きく、授業で教員が話すより生徒にもしっかりと根付いたと思います。

### 多和田 奈津子さん

外部講師  
甲状腺がん  
悪性リンパ腫経験者



大勢に話すからこそ、がん患者が身近に感じられるように心がけました。がんの知識は複雑で難しいのでがん患者の偏見につながらないよう考慮し、質問形式にすることで「自分ごと」として考えていただけました。経験談の話になったとたんに集中して聞いていた姿が印象的でした。



## ①まずは県がん連事務局にメールでご連絡ください

- ・学校名(イベント名) ・人数 ・対象年齢 ・目的
- ・希望開催日時(時期) ・ご連絡先(ご担当者・電話・メールアドレスなど)

## ②担当講師が決まりましたら事務局よりご連絡します

事務局で講師を選考し、日程調整をして打ち合わせに伺います。  
その際にはぜひご要望をお聞かせください。  
丁寧な打ち合わせを大切にしています。

ご依頼・お問い合わせは  
神奈川県がん連がん教育事務局まで

 [can-edu@kanagawa-kenganren.jp](mailto:can-edu@kanagawa-kenganren.jp)



2020年は講師料・交通費は  
いたしません。  
外部講師の指名はできませんが  
ご要望に基づいてコーディネーターが  
調整いたします。  
よろしくお願いいたします。



気になることがあればお気軽にお問い合わせください



ニックネーム

あましん

プロフィール

悪性リンパ腫

罹患年齢:27歳(現在46歳)・男性

タイトル

## 血液のがんを経験して気づいたこと

伝えたいメッセージ

27歳でがんを経験したことは不運だと思いますが、不幸とは思いません。がんを経験して、一日一日を大切に生きることを知りました。そう思えるようになるには時間がかかりましたが、多くの支えの中で生きていくと感じます。

講演内容

2000年27歳のときに、血液のがんである悪性リンパ腫を発症しました。リンパ腫は血液のがんの一つで、若年や小児でも発症し、治療は化学療法(抗がん剤)などが中心となります。

治療に伴う様々な副作用や再発も経験し、治療が嫌になったこともありました。がんになると普段は気にもしない景色が美しく、全く違って見えました。

「地球はこんなに美しい。もっと見たい」との思いが、治療に後ろ向きだった自分を後押しするようになり「一日一日を大切に生きるこの意味」を知りました。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)	○	イ	がんの種類とその経過	
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	○
オ	がんの早期発見・がん検診	○	カ	がんの治療法	○
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

こういち

プロフィール

肺がん

罹患年齢:49歳(現在50代)・男性

タイトル

## 命の大切さ

伝えたいメッセージ

日々生きていることの大切さを実感しましょう。  
家族や仲間を大切にしましょう。

講演内容

がんになったからといってすべてが終わりではありません。  
生きていることは当たり前のことではありません。

毎日ささやかな喜びと感謝の気持ちを持ちましょう。  
治療と社会生活の両立を目指していきましょう。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	○
ケ	がん患者への理解と共生	○			



ニックネーム

すず

プロフィール

急性リンパ性白血病  
罹患年齢:16歳(現在49歳)・女性

タイトル

なったら なっても

伝えたいメッセージ

がんに対して少しでも正しい知識と理解。  
日常生活の中で様々な人に助けられて生きているという事。

講演内容

16歳(高校1年生)に発病、余命3か月と診断。翌年骨髄移植を受ける。  
1年間入院したため出席日数が足りず2年留年し高校へ復学。  
治療で一時的に容姿が変わった状況で、進級した同い歳の友人、2歳年下の新しい同級生との関わり。  
急性リンパ性白血病で骨髄移植を受けた患者での妊娠出産例が当時国内でなかったが22歳の時妊娠、第一子を出産。

がんになっても学業が遅れても、自分を取り戻せる事。  
何気ない日常に周囲の助けがあることの気づき。  
命と時間は同等に価値があり、そして何より自分自身を大切にほしいという思い。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)	◎	イ	がんの種類とその経過	
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	○
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

たまちゃん

プロフィール

乳がん  
罹患年齢:41歳(現在48歳)・女性

タイトル

## 光の先に見えた景色

～「がん」と「がん患者」を知ろう～

伝えたいメッセージ

がんになっても人生終わりではないこと。困難や苦しみの中で強く生きる姿。人生思い通りにいかないことや、努力してもどうにもならないことがあるが諦めても失ってもまた希望は生まれること。支え支えられることの大切さなど。

講演内容

- ・がんになった経緯
- ・乳がんになって、子どもも治療もあきらめないために私がしたこと
- ・乳がん治療と副作用
- ・私を支えてくれた人たち～「がん」と「がん患者」の正しい理解の大切さ
- ・「泣いても笑っても同じ道なら笑っていこう」「限りある命だから、1日1日を大切に生きていきたい」
- ・光の先に見えた景色「諦めても、失っても、また希望は生まれる」
- ・助けを求めること、手を差し伸べることの大切さ

※ストーリー仕立てで話が展開し、生徒の皆さんに質問を投げかけながら話を進めていきます。患者と同じ目線で、主体的に自分事として考えてもらうことを掛けています。

※別テーマでの話(「がんと後遺症とともに生きる」など)も可能です。講演時間やメッセージ、盛り込む話題など臨機応変に対応可能ですので、ご要望をご相談ください。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診	○	カ	がんの治療法	○
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

たらこ

プロフィール

骨髄異形成症候群(MDS)  
罹患年齢:58歳(現在50代)・女性

タイトル

ていねいに生きる

～立ち止まることで見えたもの～

伝えたいメッセージ

心配事のない人生ならばそれがいいのかもしれない。けれど、予期せぬことはたびたび起こる。「生きるちから」を高めるために、心の持ちようで何かが変わるとしたら、いま何ができるだろう。

講演内容

仕事に空手に趣味。体力自慢で突っ走ってきたある日、歓迎しないことが起きた。血液のがんで再発を含め2度の移植を受け、いま元気でここにいます。かかわってくださったすべてのかたにはいくら感謝してもし尽せません。

病気にならなければ気づかなかったこと。立ち止まってはじめて見えた風景は誰も私のことを置き去りにせず、自分のできる立ち位置でいつも通り待っていてくれました。

闘病生活の中で、医師や看護師さん、家族や友人、患者仲間の温かな心に触れることができた経験から、自分も周りの方も大切に、丁寧に生きることの大切さを伝えたいです。

がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎一強く当てはまる ○一当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	
ウ	日本におけるがんの状況	○	エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

トモッチ

プロフィール

乳がん

罹患年齢:36歳・55歳(現在60代)・女性

タイトル

がんになったとき、治療・その後

～未来を信じて生きること～

伝えたいメッセージ

突然やってくるがんや2回目のがんになり患って、自分はどう思いどう治療し、今どう生きているかを話します。生徒の皆さんに未来を信じて後悔せずに生きるメッセージを伝えたいと考えます。

講演内容

がんにかかってから初めて知ったことや考えたことが多くありました。

2回のがん治療を振り返って、「がんとはどんな病気？どう生きる？治療の選択。治療の進化。家族の支え。周りの人の優しさ。同じ病気の仲間との出会い」等自分のがん経験とそこから学んだことを伝えたいと思います。

がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	○
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	○
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	◎			





ニックネーム

なっちゃん

プロフィール

甲状腺がん:罹患年齢:16歳  
悪性リンパ腫:罹患年齢:25歳  
(現在40代)・女性

タイトル

## 若年がんを経験して、生きていくということ

伝えたいメッセージ

がんは特別な誰かだけの病気ではありません。  
がんの経験を話すことで、「自分ごと」と身近に捉え、自分に何が  
できるか自分なら何を必要とするか考えるきっかけにしてほしい。

講演内容

- ①わたしの病歴
- ②若年がんならではの問題点
- ③患者経験を活かして

甲状腺がんで手術、血液がんの悪性リンパ腫で放射線、抗がん剤治療を経験しました。  
想像していた未来とは違う人生を歩んでいますが、必ずしもがん＝“絶望のまま”では  
ありません。自分の力では想像できなかった希望も見つけました。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	◎
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	○
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

なべちゃん

プロフィール

肺がん

罹患年齢: 39歳(現在40歳)・女性

タイトル

## 喫煙と肺がん

伝えたいメッセージ

喫煙していても自分はがんにならないのではと根拠なき自信を持ち続けその結果、家族と友人に悲しみを与えてしまった後悔から学んだ事。

講演内容

- ・自己紹介
- ・肺がんと診断されるまで
- ・告知された時の気持ち
- ・周りの反応
- ・治療内容と副作用
- ・肺がんになる前と後の気持ちと生活の変化（がんでも働けること）
- ・感謝とこれからの事

がんになった事で沢山の方々に支えてもらったこと自分を必要としてくれた人達に感謝をし、そして禁煙の大変さやCOPDによる生活への支障、家族を受動喫煙に巻き込んでしまった後悔を伝える事で喫煙者が減る活動をしていきたい事を伝えたい。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア がんとは(がんの要因)	◎	イ がんの種類とその経過	○
ウ 日本におけるがんの状況		エ がんの予防	◎
オ がんの早期発見・がん検診		カ がんの治療法	○
キ がん治療における緩和ケア		ク がん患者の「生活の質」	
ケ がん患者への理解と共生			



ニックネーム

のどか

プロフィール

直腸がん・大腸がん  
小腸がん・リンチ症候群  
罹患年齢:39歳(現在69歳)・女性

タイトル

## あるがまま

伝えたいメッセージ

“がん”を怖がらなくてもよい時代になった。障がいがあろうと  
“がん”と共に生きることになろうと『あるがまま』に受けとめ  
今を大切に生きるということ。

講演内容

オストメイト、ストーマについて説明し、直腸がんからオストメイトになったことを伝えます。排泄の悩みや失敗は家族にもなかなか話せないこと。仲間同士だと笑い飛ばせ元気をもらい合えること。排泄は命に関わる大切なこと。ストーマと共に生きることは日々大変なこともあるけれど、発想の転換ができたこと。

リンチ症候群(遺伝性の大腸がん)とわかり“がん”が自分だけの問題ではなくなり同じくリンチ症候群と分かった娘たちの言葉で前を向け元気になれたこと。

自分のことも相手のことも『あるがまま』に受けとめ、家族や娘、仲間に支えられいま、笑顔で生きていることを伝えます。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎一強く当てはまる ○一当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

はしもん

プロフィール

直腸GIST  
罹患年齢:47歳(現在50歳)・男性  
の妻(50歳)

タイトル

## 今できる方法を考える

～がんとオストメイトになった夫～

伝えたいメッセージ

今できない事を考えるのではなく、今できる方法を考える事で困難を乗り越えられるかもしれない。希少がんとオストメイトの夫が家族と前をむいて歩く話を通じて、諦めない事を伝えたい。

講演内容

【構成内容】

- ①クイズ形式で自己紹介(2分)
- ②クイズ形式でオストメイトについて(3分)
- ③希少がんとオストメイトになった夫(13分)
- ④みなさんに伝えたいこと(2分)

私はがん患者でオストメイト(人工肛門と人工膀胱保有者)である夫の話をします。オストメイトトイレの説明と配慮、そして10万人に1人の希少がんであるGISTと治療方法の説明を夫の病状経過と共に話します。

会社の理解と仲間や家族に支えられながらオストメイトになる事で命を守った夫が様々な葛藤を乗り越えて前向きになる過程を話します。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	○
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	○
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

はせちゃん

プロフィール

肺がん

罹患年齢:39歳(現在40代)・男性

タイトル

今、知っておこうがんのこと。

～後悔しないために～

伝えたいメッセージ

もし自分のがんになったとき慌てないために、もし友人や大切な人ががんになったとき支えられるように、今、知っておくべきことがある。自分や周りの人を大切に生きてほしい。

講演内容

振り返ってみると、がんにかかってから初めて見えた景色があります。悪いことも良いことも両方です。

がん=死ではないこと。がんの知識が偏っていて、人を傷つけることがあること。人のやさしさ。家族のありがたさ。たばこがいかに人の人生を狂わすか…がんになっても、自分らしく生きようと思えば、いつでもそう生きられること。

がん教育の目標をしっかりと見据え、困難に向き合う中で感じた思いを伝えていきます。

がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	○
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	◎
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	○
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

ぴいちゃん

プロフィール

乳がん

罹患年齢:41歳(現在50代)・女性

タイトル

がんになった今、大切にしていること

～がんになって気付いたこと～

伝えたいメッセージ

自分や自分の大切な人ががんになった時、知っておいて欲しいことがあります。がんになっても、ならなくても自分を大切に、他人を大切に日々過ごして欲しい。

講演内容

ある日突然乳がんという病気になり、ひとり取り残され自分の時間だけが止まったような感覚になりました。

治療中には辛い事もあったし、失ったものもあったけれど、がんになったからこそ得たものがあります。それは立ち止まる勇気、無理をしない勇気。時には人に頼る勇気、時間の使い方、後悔しない生き方です。

助けを求める勇気を持てば人はそっと手を差し伸べてくれる・・・だから怖がらずに伝えて欲しい。がん教育の中でがんの経験を通して、自分らしく生きる事、他人を大切にする気持ちを伝えていきます。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	○
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

まるこ

プロフィール

GIST(消化管間質腫瘍)  
罹患年齢:38歳(現在40代)・女性

タイトル

## がんを経験して気がついたこと

～あたりまえの毎日をふりかえる～

伝えたいメッセージ

- ①健康の大切さ(身体を大切にする)
- ②人の優しさ(相手の気持ちに立って考える)
- ③感謝の気持ち(毎日の生活は当たり前ではない)

講演内容

30代後半でがん罹患しました。そのがんは、一年間に新たに診断される患者さんが10万人に1人というまれながんでした。まわりに同じ境遇の人がいない中で、生きづらさや不安を抱えて治療に向かうさなか、再発・転移を経験し、現在も治療を継続しています。

がんという病気を抱えていても社会活動に参加できるという可能性や生きづらさや不安などの辛い気持ちや閉塞感は、人の優しさや、感謝の気持ちに気づかせてくれる糧となりました。子供さんたちが生きていくこの先の人生の応援団の一員としてお話しをさせていただけたら幸いです。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	○
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	○
ケ	がん患者への理解と共生	◎			



ニックネーム

みどさん

プロフィール

乳がん

罹患年齢:45歳(現在50代)・女性

タイトル

母さん、乳がんになりました  
～笑顔の大切さ・子どもが向き合う親のがん～

伝えたいメッセージ

がんだけでなく生きていれば、大変なことも辛いこともある。  
生きる力を身に付けてほしい。

講演内容

- 自己紹介
  - 乳がんの発見までの経緯(がん検診へ行ってない後悔)
  - 乳がんの告知を受けた時の気持ち
  - 親のがんと向き合う子ども達の生活。親への接し方。
  - 化学療法(抗がん剤治療)脱毛してゆく様子。また生えてくる様子。画像あり。
  - がんになっても、私は、私。(がんになって想う事)いま出来る事をやればよし。
- 私の乳がん経験は、シコリがあったものの、放置していました。それが乳がんの症状だと分からなかった。友人に強く受診するように勧められて、病院へ行き、乳がんが発見されました。
- 知る事で、伝える事で誰かを助けることが出来る。一緒に考える時間にするために子ども達が参加出来るやすいような質問やクイズ形式も取り入れる事が出来ます。

がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診	◎	カ	がんの治療法	○
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	○			





ニックネーム

ゆうちゃん

プロフィール

乳がん

罹患年齢:35歳(現在40代)・女性

タイトル

未来からのエール～自分で選んで見えた希望～

伝えたいメッセージ

今頑張っている自分に、未来の自分からエールを送ろう！  
妊娠中に突然がんを告知され、命をあきらめかけた自分が  
がんの治療と出産の両立に向き合う中で見えてきた希望を伝えます。

講演内容

辛いことや悲しいこと、誰もがこれまでたくさん経験してきたと思います。  
だけど知らず知らずのうちにそれらすべてを乗り越えてきたはず。  
困難にぶつかった時、正しい知識は必ず味方になってくれます。  
もうダメだと思っても、冷静に周りを見渡せばできることはたくさんあります。  
何かに躓いたり迷ったりしたら、自分の心の声に耳を傾けること。

未来ある子どもたちに、がんと出産の両立という困難に向き合う中で見えた希望を伝えたいです。

がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	○
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	○			



ニックネーム

よーちゃん

プロフィール

乳がん・胃がん

罹患年齢:45歳(現在50代)・女性

タイトル

## がん患者の私から中学生(小学生、高校生)のみなさんへ

伝えたいメッセージ

がんの闘病経験を通して、家族や友人、会社の仲間の優しさに触れました。その中で考えた「幸せに生きるとは」をお伝えすると同時にみなさんにも幸せに生きるということについて考える契機として頂きたいと思います。

講演内容

- ・私のがん治療歴(乳がん、胃がん、再発、転移、手術、抗がん剤、放射線治療)
- ・幸せに生きるために(闘病エピソードを交えて、以下をお伝えします)

- (1)自分がやりたいことをやる
- (2)家族や仲間を大切にする
- (3)知らない誰かの役に立つ

現在、治療と仕事を両立しております。

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	○
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	
オ	がんの早期発見・がん検診	○	カ	がんの治療法	○
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	◎
ケ	がん患者への理解と共生	○			



ニックネーム

EKKOさん

プロフィール

乳がん  
罹患年齢:54歳(現在60代)・女性

タイトル

## みんなで知ろう・考えてみよう！「がんと健康」

伝えたいメッセージ

- 日本の未来を担う児童・生徒の皆さんにお伝えしたいこと
- ・がんに罹ってもおしまいじゃない。
  - ・「ひとりじゃない」と思えることが心の支えに。
  - ・準備する心は未来を変える。

講演内容

学校側の希望をお聞きし、時間や内容・スタイルを変えて対応させていただきます。

【例】

乳がん経験から治療や予防・がん患者への理解と共生など、20～30分患者の話。  
保健体育の教師と一体になり、授業の一部として生徒さんの質問に答える形式など。  
これまでに中学校・高等学校でがん教育を実施経験あり。  
(小学校はモデル授業の見学)

### がん教育に必要な内容(※外部講師を用いたがん教育ガイドライン参照)

◎—強く当てはまる ○—当てはまる

ア	がんとは(がんの要因)		イ	がんの種類とその経過	○
ウ	日本におけるがんの状況		エ	がんの予防	○
オ	がんの早期発見・がん検診		カ	がんの治療法	
キ	がん治療における緩和ケア		ク	がん患者の「生活の質」	○
ケ	がん患者への理解と共生	◎			

# 「がん教育」をともに 作っていきのために…



## Q. 授業枠や単位について

学年またはクラス単位、どちらにも対応いたします。

様々ながん経験者が研修を積み、多数登録していますので異なるがん種の講師が数人で伺うことも可能です。

また日数や時間についてもご相談ください。

## Q. 講師料・交通費について

2020年は不要です。

まずは皆さまと一緒に、より良いがん教育を作るところからスタートしていきます。

## Q. 打ち合わせについて

私たちは打ち合わせをととても大切にしており、こちらから事前にお伺いいたします。

打ち合わせを通して

- ①講師と学校側、お互いが顔の見える関係性を築く
- ②目標を共有し教育現場の要望に沿って授業を組み立てる
- ③必要な配慮を一緒に考え、共有する
- ④PCやスクリーンなど準備の確認

これらを踏まえてきちんと打ち合わせを行ったうえで、がん教育を実施したいと思えます。

## Q.話の内容について

私たちの行動指針は「外部講師を招いたがん教育ガイドライン」(文部科省)に示されていますので、生徒の不安をあおることではなく、がん教育の目標に沿い、正しい知識、自他の健康や命の大切さについて主体的に考える一助になればと思います。

詳しい内容についても説明させていただきますので、まずはお気軽にご連絡ください。

## Q.生徒からの質問について…

私たちが行う研修では、学校で生徒にがんを教えること責任を自覚し様々な状況を想定しています。

さらに、自分の病状を客観視し、自らの経験を語る覚悟を持って取り組んでいます。生徒からの質問には丁寧にお答えするよう努めます。

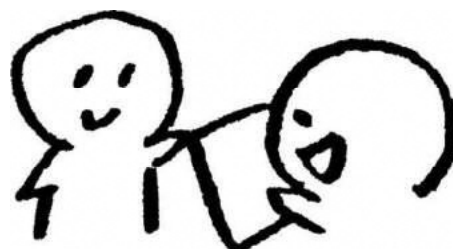
## Q.「配慮」について

「外部講師を招いたがん教育ガイドライン」(文部科学省)には配慮の記載があります。

具体的には、生徒児童の中に、小児がんの経験者、身内をがんで亡くした、またはがん患者がいる場合などが考えられますので、該当する生徒児童の有無に関わらず授業の実施前までに配慮が求められます。

配慮の例として、「外部講師によるがん教育の実施を保護者へ周知し家庭からの情報を得る」「限定的な内容に特化しないよう事例を一般化するなどの工夫」などがあります。

その他にわからないことがあればお気軽にご連絡ください





令和元年 10月5日(土)20日(日)11月4日(月祝)9日(日)横浜関内ビル3階

神奈川県がん患者団体連合会は、半年以上にわたり、研修会の検討と準備を進め、4日間のがん教育研修を開催しました。外部講師希望者だけではなく、学校教諭や行政担当者も、多数ご参加いただき活気と熱意あふれる研修に！今後のがん教育を作り上げる第一歩を踏み出しました。

### がん教育研修1日目(10月5日)

#### 講演

- ①「がん教育への期待」  
杉崎弘周先生(新潟医療福祉大学)
- ②「がん教育の実践について～行政の立場から」  
藤至光先生(横浜市教育委員会事務局小中学校)
- ③「子ども達に伝えるがんの知識とは」  
片山佳代子先生(県立がんセンター臨床研究所)

#### 模擬授業

- ①「実践例～医療者外部講師の場合」  
成島道昭氏(昭和大学横浜市北部病院)
- ②「実践例～がん患者外部講師の場合」  
長谷川一男氏(肺がん患者の会ワンステップ)
- ③「実践例～がん患者外部講師の場合」  
泉川しずか氏(キャンサーサポート福岡)

### がん教育研修2日目(10月20日)

#### ワークショップ

行政、教育関係の方を含んだグループでワークショップを行いました。

- ①「がん患者ってどういう人？」
- ②「専門用語をどうわかりやすく伝えるか？」
- ③「配慮すべきことは何か？」
- ④「実際に伝えてみる」

### がん教育研修3・4日目(11月4日、9日)

#### 外部講師希望者による模擬授業経験

これまで学んだことを活かして自分の経験20分で発表。目的を意識しながら、参加者同士でチェック項目にポイントをつけていきました。



【主催】(一社)神奈川県がん患者団体連合会/横浜市市民局/NPO法人肺がん患者の会ワンステップ  
 【共催】横浜市教育委員会  
 【後援】神奈川県 / 神奈川県教育委員会/(一社)全国がん患者団体連合会/茨城がん体験談スピーカーバンク/NPO法人がんサポートかごしま/NPO法人キャンサーサポート/NPO法人くまがやピンクリボンの会

# 神奈川県がん連加盟団体

一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン  
NPO法人肺がん患者の会ワンステップ  
神奈川県立がんセンター患者会「コスモス」  
相模原協同病院がん患者会「富貴草」  
あけぼの神奈川  
おしゃべりバディー  
頭頸部がん患者と家族の会「Nicotto(ニコット)」  
聖マリアンナ医科大学病院 乳がん体験者の会「マリアリボン」  
NPO法人Company de Company Pink Ribbon YOKOHAMA  
若年がん患者会ローズマリー  
一般社団法人ピアリング  
ピアサポートよこはま  
ハートプレイス  
GISTERS神奈川

## 知るからはじめるがんのこと～未来のために伝えたい～

2020年1月20日発行

発行人 天野慎介

発行元 一般社団法人神奈川県がん患者団体連合会

住 所 神奈川県横浜市港南区笹下二丁目1番12号小西屋事務所

メール office@kanagawa-kenganren.jp

ウェブサイト <http://www.kanagawa-kenganren.jp/>

編 集 長谷川一男、橋本利栄子、平塚歩、福田ゆう子(表紙写真/デザイン)

協 力 茨城がん体験談スピーカーバンク ほか

この冊子は横浜市市民局「協働事業の提案支援モデル事業」/  
公益財団法人かながわ生き生き市民基金第11期福祉たすけあい基金によって作成されました

# ちよこっつと子育て レスキュー隊

NPO法人 のはらネットワーク  
西田清美

2020年2月23日（日）



# ちょこっと子育てレスキュー隊とは

「こどもをちょっと預かってもらえる場所があれば・・・」

という声にすこしでも何かしたいと、都筑区内の乳幼児一時預かり施設や親と子のつどいの広場など子育て支援者が集まり、

出張一時預かりの実施、緊急性の高い方のニーズに応える預かりの仕組みづくりに取り組んでいます。

横浜市市民局の“協働により地域課題に取り組む”「協働事業の提案支援モデル事業」を活用しています。

今年度、身近に預かり施設のない方のため、また北部療育センターに通う方のきょうだい児のため「出張一時預かり」を大熊町と平台の自治会館でサポーターをつのって実施しました。身近な地域で、子育てする側、支援する側みんなにやさしい子育て支援の在り方を模索しながら活動しています。

# 一時預かりは、応急処置

ほうっておくとひどくなる

課題

緊急性のある人を  
預かりの支援につなげる



# 応急処置では、根本的な解決にはならない

必要とされている支援は、（アンケートより）

1. 親子が自由に過ごせる場
2. ベビーカーで行きやすい場
3. 同じ地域で暮らす子育て家庭が出会える場
3. 子どもを預かってくれる場

一緒に課題を解決する仲間に  
声をかけ・・・

課題解決のアイディアがうまれた。  
(→これが提案に)



# 「ちょこっと子育てレスキュー隊」今年度の取り組み



乳幼児一時預かり（ぽっぽ・さんぽ・仲町台フェアリーランド）／  
親と子のつどいの広場（すくすくサロン・ぷらっとカフェ・つづき）／北部療育センター

協働：横浜市市民局／協力：都筑区こども家庭支援課・都筑区子育て支援センターポポラ・都筑区社会福祉協議会

# 毎月1回協議会を開催



日時	出席	内容	
4月25日	14人	顔合わせ・経緯説明・提案	部会に分かれて協議
5月27日	12人	部会に分かれて協議	リーフレット作成について
6月18日	13人	部会に分かれて協議	サポーター養成講座検討
7月24日	13人	部会に分かれて協議	9月の研修の検討
8月24日	15人	部会に分かれて協議	児童家庭支援センターかわわ紹介
9月27日	10人	部会報告	
10月25日	12人	部会報告	
11月19日	12人	部会報告	1月研修・振り返り会検討
12月11日	13人	今後に向けて（各部会）	1月研修・振り返り会検討
1月23日	10人	今後に向けて	3月フォーラム検討
2月23日	10人	今後に向けて	3月フォーラム検討

# まずは、知ってもらうために



## 預けたいとき 預けたときに、預かってもらえるところ。どんなところがいい？



地域のなかに預れる場所を見つけよう

いつもの場所での預かり。季節に替がてきま整備。いつでも親子で体験できる。だから安心して預けられます。

## 親子で行けるところ 預かるだけじゃない！親子で参加できるところ。...



絵紙に子育ての不安や悩みを書き綴る人がいます。

こどもの成長を一緒に喜ぶ人がいます。

親子の居場所があります

### 乳幼児一時預かり

お申し込みは2024年7月15日(月)までです。お申し込みは、お申し込み先にご記入ください。お申し込み先にご記入ください。お申し込み先にご記入ください。

- 1 乳幼児一時預かり(お申し込み先) 詳細はこちら
- 2 市内の各子育て支援センター(お申し込み先) 詳細はこちら
- 3 市内の各子育て支援センター(お申し込み先) 詳細はこちら
- 4 お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら

### 子育て支援センター 一時保育ぱっぱ

- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら

### 子育て支援センター 一時保育さんぽ

- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら

### フェアリーランド遊戯科ゆき

- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら

### 親子のつどいの広場での一時預かり

#### おまの広場『まよのちかふえ』

- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら

#### 親子のつどいの広場『かくのりひろば』

- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら
- お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら

### その他の一時保育

お申し込み先(お申し込み先) 詳細はこちら

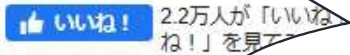
困ったときに、頼れるところ(預かり施設)があることを、子育てを始めるときに、知ってもらう取り組みとして

→都筑区の広報で紹介されたものを使用したリーフレットを作成 区内のすべての赤ちゃん会会場で、協議会メンバーが直接手渡しで、配布させていただく。

# ちよこっと子育てレスキュー隊協議会の取り組み (部会①) 緊急性の高いニーズに応えるための仕組みづくり



スケジュール調整サービス



困ったときにすぐに預けられない

## ちよこっと子育てレスキュー隊 施設 預かり空状況

各施設の預かり空状況

- ◎ 3人預かれます
- 2人預かれます
- △ 1人預かれます
- × 預かりNG

協議会の各施設が空き状況を確認できるとよい。

でもシステムを作るのは大変、お金も  
⇒スケジュール調整サービス「伝助」  
を利用

	◎	○	△	×	さんぽ西川	たんぼ	ほーほー	まくまく	ぶらぶら	ちよこっと	フェアリー	ポポロ	第1期
11/4(月)AM				2	-	-	-	-	×	×	-	-	-
11/4(月)PM				1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11/5(火)AM		2		1	-	-	-	○	○	×	-	-	-
11/5(火)PM		2		1	-	-	-	○	○	×	-	-	-
11/6(水)AM				3	-	-	-	×	×	×	-	-	-
11/6(水)PM				3	-	-	-	×	×	×	-	-	-
11/7(木)AM		2		1	-	-	-	○	○	×	-	-	-
11/7(木)PM		2		1	-	-	-	○	○	×	-	-	-
11/8(金)AM	1			2	-	-	-	◎	×	×	-	-	-
11/8(金)PM	1			2	-	-	-	◎	×	×	-	-	-
11/11(月)AM		2		2	-	-	×	○	○	×	-	-	-

(レスキュー隊の声)  
自分のところがいっぱいでも、他の施設を紹介出来る。利用者と一緒に考えることができる

顔を知ったつながりだからこそ安心できる





## (部会②) 預かりの支援が届きにくい場での 出張一時預かり

近くに支援の  
場がない

社会福祉協議会事務局長  
S氏から  
大熊町S自治会長へ

都田地区  
大熊町内会館

→ (知ってもらう)

都田地区回覧・掲示、地域の支援の場、あかちゃん会、大熊保育園、民生委員経由

# (部会2) 大熊出張一時預かりと「一緒にあそぼう」のチラシ



あなたの「困った」をお手伝い 出張一時預かり

## ちょっと預けてみませんか

子どもを預けたいけれど遠くて利用できないと感じている方に向けて  
今回 都田地区大熊町で出張の一時預かりをさせていただくことになりました。

11フレッシュした!! たまってる家事がした!!  
ちよこつと レスキュー隊  
少しのあいだ お子さんとお預かりします

子どもを預けたいけれど遠くて利用できないと感じている方に向けて  
今回 都田地区大熊町で出張の一時預かりをさせていただくことになりました。

うちの言葉が おそいんです  
ほかにみもたちと遊べる時間  
子育ての悩みや不安を聞いてもらって  
ママもフレッシュな気持ちで子育てできるかも  
ママもフレッシュな気持ちで子育てできるかも  
ママもフレッシュな気持ちで子育てできるかも

うちの元気がありあまって、夜も寝なくて...  
ママもよかったら、思っただけで来てほしいよ

- 会場 大熊町公民館(大熊町497) 杉山神社奥 駐車スペース有
- 対象 0歳6か月～小学校入学前 ●定員 1回につき6名程度
- 日時 9月11日(水)～10月30日(水) 毎週水曜日  
①午前 9時から12時 ②午後 13時から16時
- 申込期間:  
保育を希望する日の3日前まで 受け付けます。  
裏面にありますメールアドレスに必要事項をご記入の上お申し込みください。
- 保育料 3時間 1000円 (おやつ・飲み物・保険料含む)
- 持ち物 着替え一式・おむつ3枚・おしりふき・(乳児の方)哺乳瓶・ミルク

説明会  
9月4日(水)  
10:00-11:00  
大熊町公民館にし  
親子でいらして下さい

親子体験 無料

主催:ちよこつと子育てレスキュー隊  
乳幼児一時預かり(ぼっぼさんぽ・仲町台フェアランド)  
親と子のつどいの広場(すくすくサロン・ぶらっとカフェ・つづき)・北部療育センター・都筑区社会福祉協議会  
共催: 横浜市市民局  
協力: 都筑区こども家庭支援課・都筑区子育て支援センター・ポポラ

申し込み/問い合わせ メール [tkr.yoyaku@gmail.com](mailto:tkr.yoyaku@gmail.com) 070-6481-9663 (西田)

「ちよこつと子育てレスキュー隊」は、横浜市市民局市民活動支援課の「協働事業の提案支援モデル事業」に選考され助成金を受け実施している活動です。

あなたの「困った」をお手伝い 出張一時預かり&親子ひろば

## 大熊自治会館で いっしょにあそぼう

おがあさん、おとうさん、おばあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、おともだち、いっしょだと、たのしいね!!

おハヤのお遊びモ...

※同じ場所でも一時預かりの保育も行っています。9時～12時/13時～16時 詳細は、→

- 会場 大熊町公民館(大熊町497) 杉山神社奥
- 対象 だれでも 親子でどうぞ
- 日時 9月11日(水)～10月30日(水) 毎週水曜日  
午前 9時から12時 (ご都合の良い時間で大丈夫)
- 申込なし ※一時預かりを申し込まれる方は事前に お願いします。
- 参加費 100円(おやつ・保険料含む) ※一時預かりは1h300円
- 持ち物 着替え

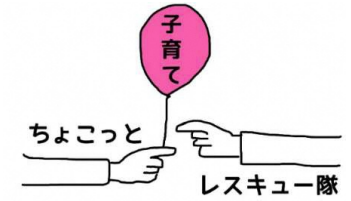
主催:ちよこつと子育てレスキュー隊  
乳幼児一時預かり(ぼっぼさんぽ・仲町台フェアランド)  
親と子のつどいの広場(すくすくサロン・ぶらっとカフェ・つづき)・北部療育センター  
共催: 横浜市市民局  
協力: 都筑区こども家庭支援課・都筑区子育て支援センター・ポポラ・都筑区社会福祉協議会

申し込み/問い合わせ メール [tkr.yoyaku@gmail.com](mailto:tkr.yoyaku@gmail.com) 070-6481-9663 (西田)

「ちよこつと子育てレスキュー隊」は、横浜市市民局市民活動支援課の「協働事業の提案支援モデル事業」に選考され助成金を受け実施している活動です。

QRコード  
を作成して  
チラシにつけました

# (部会②) 大熊出張一時預かりの様子



おひるね

0才児	1才児
5分 F=7	10分 F=7
10:20 ✓	10:50 ✓
25 ✓	11:00 ✓
30 ✓	11:10 ✓
35 ✓	11:15 ✓
40 ✓	120 ✓
45 ✓	25 ✓
50 ✓	30 ✓
55 ✓	35 ✓
	40 ✓

\*うつぶせにはたらき過ぎないこと。

(部会2) 利用者数  
79人  
親子 8組

9月4日 説明会  
8組 (19名)

1月23日  
親子であそぼう  
5組参加

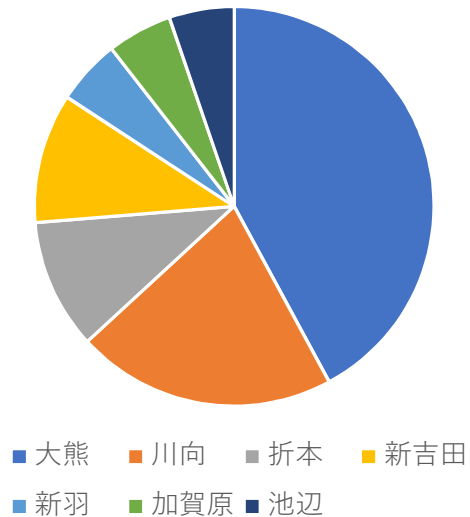
利用者の要望で  
追加実施2回

日付	0歳	1歳	2歳	3歳	親子	キャンセル	利用者数
9/11.	2人	1人		1人	2人	1人	4人 (2人)
9/18	3人	1人					4人
9/25	1人	1人		1人			3人
10/2	3人	1人					4人
10/9	3人	1人			1人	1人	4人 (1人)
10/16	3人	1人	1人		1人	1人	5人 (1人)
10/23	2人	1人		1人	1人	1人	4人 (1人)
10/30	3人	1人	2人	1人	3人		7人 (3人)
10/30	1人						1人
11/13	2人	1人		2人			5人
11/20	3人			1人			4人
11/27	3人	2人	1人	1人			7人
12/4	3人	3人	1人	1人			8人
12/11.	3人	1人	1人	1人			6人
2/5		3人	2人	1人		2人	6人
3/4		2人	2人	3人		3人	7人
合計	35人	20人	10人	14人	8人	9人	79

## (部会2) 大熊出張一時預かり利用者の声



地域



### ■ 利用しようと思った理由

- ・ 仕事・子どもの社会性を学ぶため
- ・ 親子用事のため
- ・ リフレッシュ
- ・ 未就園児で、集団の中での遊びを経験させたいため
- ・ お友達と遊ばせる機会が近くでなかなかなかったため利用させていただきました。
- ・ 後追いがひどいので慣れさせるため
- ・ 今まで近くになかったため
- ・ 家のことをしたかった。人馴れするため
- ・ 買い物に行くとき二人連れで大変だから
- ・ 子どもが友達と遊べて楽しそうだから

## (部会2) 大熊出張一時預かり利用者の声



### ■ 預かり前と後でお子さんの変化はありましたか？

- ・ 楽しそうに出来事を話してくれた
- ・ 9月から預け、徐々に言葉が増えてきた。11月末から少し会話ができるようになり、理解力も上がってきた。  
公園では一カ所で小さく遊んでいたが、走り回るようになりのびのびと遊び 表情が豊かになった。
- ・ 一時預かりを利用してから成長に手ごたえを感じ、いい刺激になった。
- ・ ブロック遊びなど集中してできるようになった。自分より小さい子と接して幼い母性が芽生えた。
- ・ 次の日 少しぐずったりはあったので寂しかったのはあるかな？と思いました。でも普段できない水遊びや外で全力で遊んだり刺激をたくさん受けたみたいでよかったです。

## (部会3) 大熊一時預かり利用者の声



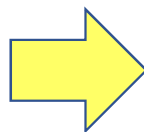
### ■ 預かり前と後でお母さんの感想を教えてください

- ・子どもを預けて家への帰り道、肩の荷が下りてとても体が軽くなった感じがしました。  
あまり自覚していないけど緊張感をもって子育てしているんだなーと思いました。
- ・ほっとできるひとときをありがとうございました。
- ・用事のために初めて託児を利用したのですが、子どもも楽しそうだし、施設の方も優しくて頼りになるし、育児に余裕がなくなったときなど、今後の逃げ場ができたのはとても大きいです。積極的に利用したいと思いました。
- ・来年からの幼稚園が不安でしたが、子ども同士でも遊ぶようになったと聞き安心しました。プレ幼稚園にも通っておらず、親子二人きりでは、限界を感じていました。
- ・このような場を作ってください大変感謝しています。
- ・また来年もお会い出来たらうれしいです。ありがとうございました。
- ・リフレッシュできました。

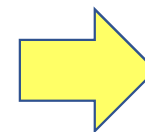


## (部会③) 北部療育センターに通う兄弟児の保育

年間8000人以上の  
未就学児の診療と  
療育  
の利用がある



兄弟児の  
保育が  
足りない



療育センター  
近くで保育で  
きる場を探す



平台町内会館で  
出張保育



## (部会3) 北部療育センター兄弟児保育の様子



福祉に地域は、関係  
ありません。空いて  
いるときは、使って  
ください  
(平台 | 会長)

近くで預かっていた  
だけで助かります。

下の子の預け先がない  
ので親子教室をあきら  
めようと思っていまし  
たので助かります。



(部会3) 北部療育センターきょうだい児保育利用者数 19人

日付	0歳	1歳	2歳	3歳	3歳以上	キャンセル	合計
9/3	1人	1人				1人	2人
10/3			1人				1人
10/10			2人				2人
10/17			1人			2人	1人
10/24			2人				2人
10/31	1人	1人	2人				4人
11/5	1人	1人	1人				3人
11/11.						1人	
11/12			1人				1人
11/18			1人				1人
11/19			1人				1人
11/26			1人				1人

# (部会3) 北部療育センターに通うきょうだい児の保育 保育をして見えてきた課題



診断・面談・親子クラスは、  
曜日が固定できない

必要な日に保育を設定。  
会場は、ケアプラザも  
使用した。

きょうだい児は、未就学児  
だけでない

一時預かり施設への  
送迎ボランティアに  
つなげる

不安を抱える保護者への対応

小学生の保育も受ける  
ことにした

母たちのおしゃべり会  
「ぽこぺん」に誘う

ちょこっと子育てレスキュー隊協議会  
の取り組み

## 一時預かりサポーター 養成講座

- ・一時預かりや親と子の  
つどいの広場を利用して  
いた保護者
- ・プレイパークの世話人  
に声をかけて募集した。

### 一時預かりサポーター養成講座のお誘い

「たいへん 困った・・・少しの間、見てくれる人がいたら助かるんだけどな」  
子育て中の人ならだれもが一度は、思ったことがあるのではないのでしょうか？  
都筑区内で 一時預かりの支援をしている私たちは、子育てに困ったときに  
支えられることの大切さを実感しています。しかし、「困った」に対して  
「支えて」が足りていないという課題があります。  
その課題に対して 横浜市民局の助成を受けて「ちょこっと子育てレス  
キュー隊」が発足しました。一人でも多くの「困った」に対応できることを目  
指しています。そこでお手伝いいただける仲間を募集します。  
自分も元気ももらえたので今度は、なにかお手伝いが出来たらうれしいと思  
われる方。以前に比べて、時間にも気持ちにも少し余裕ができたと思われる方。  
自分の子育て、まだまだ迷うことばかり・・・と思われている方。  
保育経験の有無は問いません。一緒に子育てのことを考え、一緒に誰かの支え  
になったり、支えられたりしませんか？  
「一時預かりサポーター養成講座」を受講していただいた方の中で希望される  
方には、秋から始まる 出張一時預かりの場のお手伝いをしていただきたい  
と思っています。(謝金あり)

日時：6月27日(木) 9時45分～12時(受付9時30分)

場所：都筑地区センター 2階 中広間

地下鉄グリーンライン つづきふれあいの丘駅下車

講師：一時預かり保育室さんぼ保育士 伊藤久美子・燕昇司知里

申し込み方法：一時保育「さんぼ」 045-532-9960

主催：ちょこっと子育てレスキュー隊

乳幼児一時預かり保育「さんぼ」「ぼっぼ」「仲町台フェアリーランド」  
つどいの広場「ぶらっとカフェ」「つづき」「すくすくさろん」  
子育てサポートシステム・北部療育センター・都筑区社協・都筑区主任児童委員  
協力：横浜市民局・都筑区こども家庭支援課・都筑区子育て支援センターボラ



ちよこっと子育てレスキュー隊協議会の取り組み



一時預かりサポーター養成講座・6月27日

都筑地区センター

参加者：17人



(サポーターの声)

ワークショップで体感できたのは、面白い経験でした。

## ちよこっと子育てレスキュー隊協議会の取り組み



## 一時預かりサポーター養成講座受講者が、保育をサポート



(サポーターの声)

子育て中の悩みを話す側、聞く側、  
両方体験出来て

このような場があることは、本当に  
ありがたいと思いました。

# ちょこっと子育てレスキュー隊協議会の取り組み

## 一時預かりサポーター振り返り講座

参加者12人・スタッフ6人

2020年1月21日 会場：かけはしつづき



### (サポーターの声)

- ・不安に思ったり、楽しかったことを共有できてよかった。自分が感じた事と違う考えや、他の対応の仕方が聞いて参考になった。
- ・「地域で子育て」なんとなく興味が合って参加した。保育をしていくうち、必要性、ずーっと続けていけたらいいと感じた。
- ・自分がたくさんの方にして頂けたように、子育てでつらい思いをしている方の一助になれたらと思った。

### (協議会メンバーの声)

- ・サポーター皆さんがそれぞれ感じたことを話すことで、自分だけの気づきだけではなく大きな気づきにつながりまた支援の循環になっている気がしました。

# ちょこっと子育てレスキュー隊協議会の取り組み

## 講座や研修

### 区内の支援者スキルアップのための研修開催



都筑区の子育て支援に関わる方対象  
**0歳児支援の大切さ**

今の0歳の育児って？  
どこを大切にしたらいいの？  
お母さんたちにどうしたらいいの？  
現在、虐待防止の観点から、養育形成が注目されています。  
養育形成は、誕生直後0歳児からスタートしています。  
0歳児の発達や接し方をもう一度学び直し  
保護者の方にわかりやすく伝えていませんか？

2019年 **9月27日** (金)  
時間 14時～16時  
会場 都筑区役所1階  
福祉保健センター  
多目的室

講師 永田 陽子 先生 (東京都子育て支援センター-赤羽駅前・福祉のまち)  
対象 都筑区で子育て支援に関わる方・子育て中の方・興味のある方  
問合せ info@nochara-net.com 電話 045-914-6272 (1-800028-870)

主催：ちょこっと子育てレスキュー隊  
乳幼児一時預かり事業者（一般保育ばっばーさんぽ・林明台フェアリーランド）  
親と子のつどいの広場（すくすくサロン・あちとカフェ・つづき）  
福祉総合センター

共催：横浜自由社  
協力：都筑区こども福祉支援課・都筑区子育て支援センター-ポポラ・都筑区社会福祉協議会

【ちょこっと子育てレスキュー隊】は、東京都福祉保健局が主催する「協議会等の認定支援（アムホラ）」  
に認定され、協議会を支援している団体です。  
高度一時預かりの実施、緊急時の応じ方について迅速な問い合わせの体制を整えるために協議会を開設しています。

2019年9月27日 会場：都筑区役所1階  
参加者 70人 協議会メンバー 10人  
内訳： 一時預かり・親と子のつどいの広場スタッフ  
赤ちゃん訪問員  
子育て支援者  
民生・主任児童委員 ほか

内容について： わかりやすかった 45人  
自分の活動の参考になった 35人  
もっと学びたい 5人  
今後役に立つと思います。  
0歳児の母親の教育が大事なことを知りました。  
ビデオが見られなかったのが残念だった。



# ちよこっと子育てレスキュー隊協議会の取り組み



## 講座や研修

## 区内の支援者スキルアップのための研修開催

今を知ろう。子育て支援者のための  
**乳幼児とスマホの**  
ちょうどいい付き合い方

今や、乳児期からスマホのチカラを借りて育児をする時代。  
子ども、親、親子関係にどのような影響があるのでしょうか？  
今後、私たちは現状をどうとらえ関わっていけばいいのか  
一緒に考えてみませんか？

2020年  
**1月23日(木)** 参加費無料・申込不要

時間 14時～16時  
会場 かけはし部族 1階  
講師 古野 陽一 氏  
NPO 法人子どもとメディア 専任講師  
対象 部族区で子育て支援に関わる方  
子育て中の方・興味のある方  
問合せ info@nohara-net.com 電話 045-914-6272 (一転部族-部育)

2020年 1月23日 会場：かけはしつづき

参加者 51人 協議会メンバー 10人

内訳：一時預かり・親と子のつどいの広場スタッフ 21人

民生・主任児童委員 7人 区役所 2人

レスキュー隊サポーター 2人 チラシ 3人

赤ちゃん訪問員 1人

内容について： わかりやすかった 34人

自分の活動に参考になった 14人

もっと学びたい 6人

全部がよかった

勉強になりました

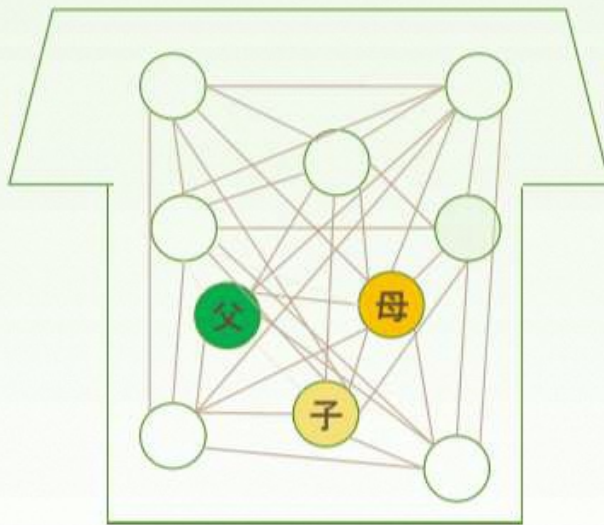
また聞きたいです

時間が足りなくて残念、もっと聞きたいくらいです

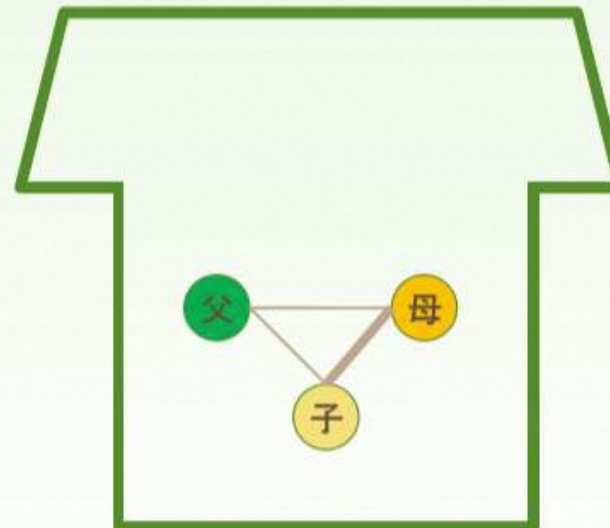
# 現在の子育て状況

2019年3月18日 フォーラム 尾木まりさんの資料から

## (2) 複相的な育児と単相的な育児



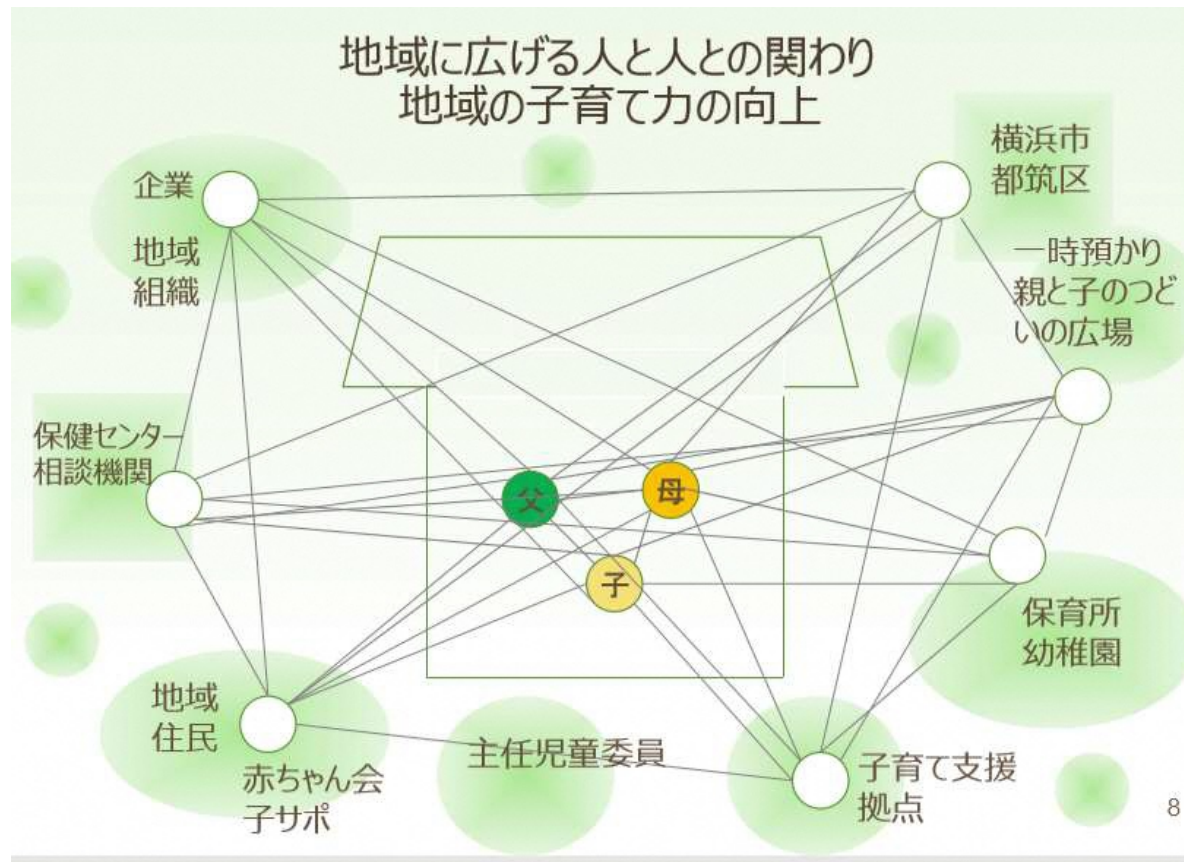
複相的な育児における家族関係  
N=10 → 45



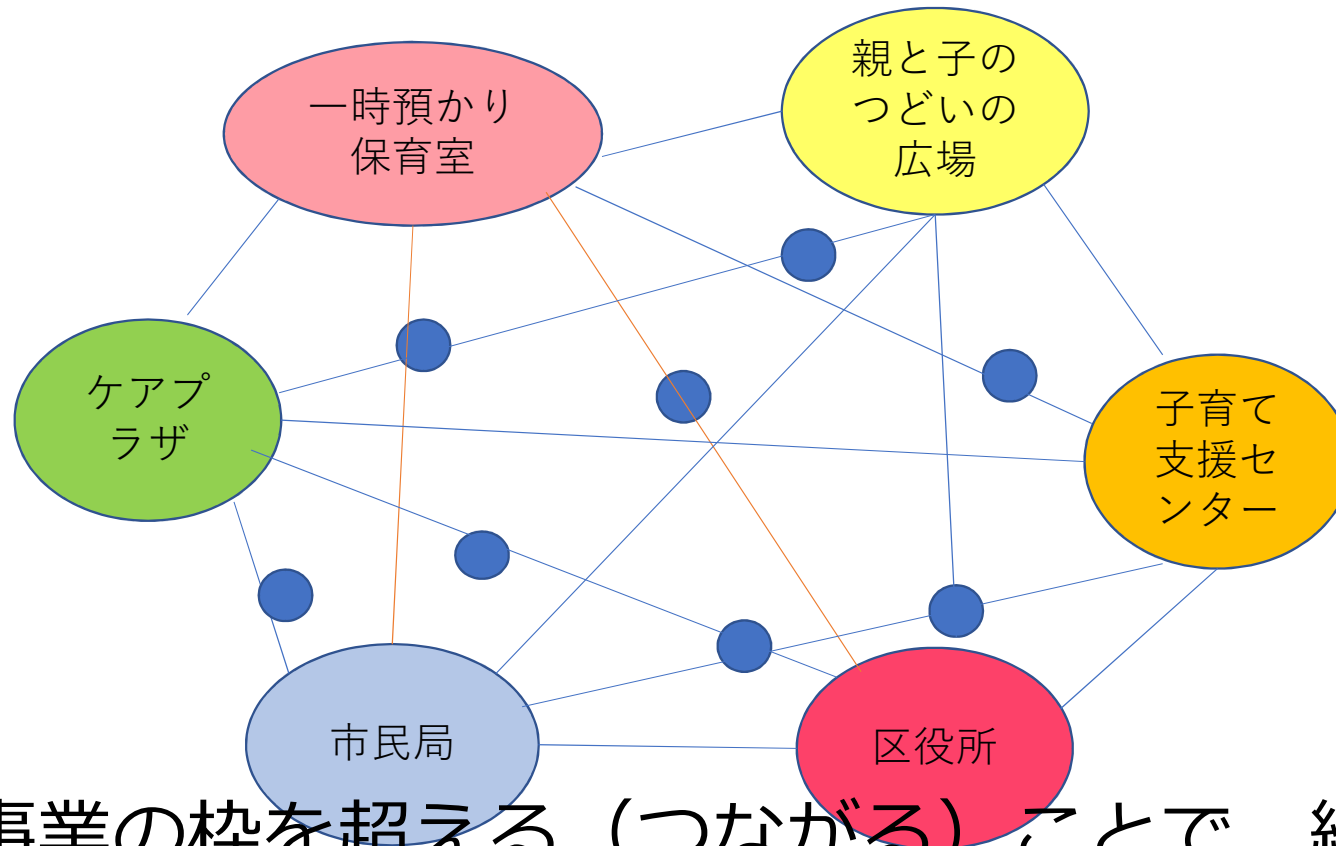
単相的な育児における  
家族関係  
N=3 → 3

# これからの子育て支援

2019年3月18日 フォーラム 尾木まりさんの資料から



# 「ちょこっとレスキュー隊」だからできたこと



施設や事業の枠を超える（つながる）ことで、網目がもっと細かくなって多くの不安に対応できる

## 2年目（未来）に向けて



- ・3月26日（木）都筑区でフォーラム開催  
「地域で とりくむ 子育て支援」（仮題）  
ファシリテーター 子どもの領域研究所所長 尾木まりさん
- ・出張一時預かりは、大熊町以外でも依頼があれば実施  
（予算は、助成金を申請予定）
- ・療育センターに通うきょうだい児の保育は、  
北部療育センターと一緒に取り組んでいく方向で進めている

レスキュー隊の輪が広がりますように・・・

ちよこっと子育て  
レスキュー隊は、

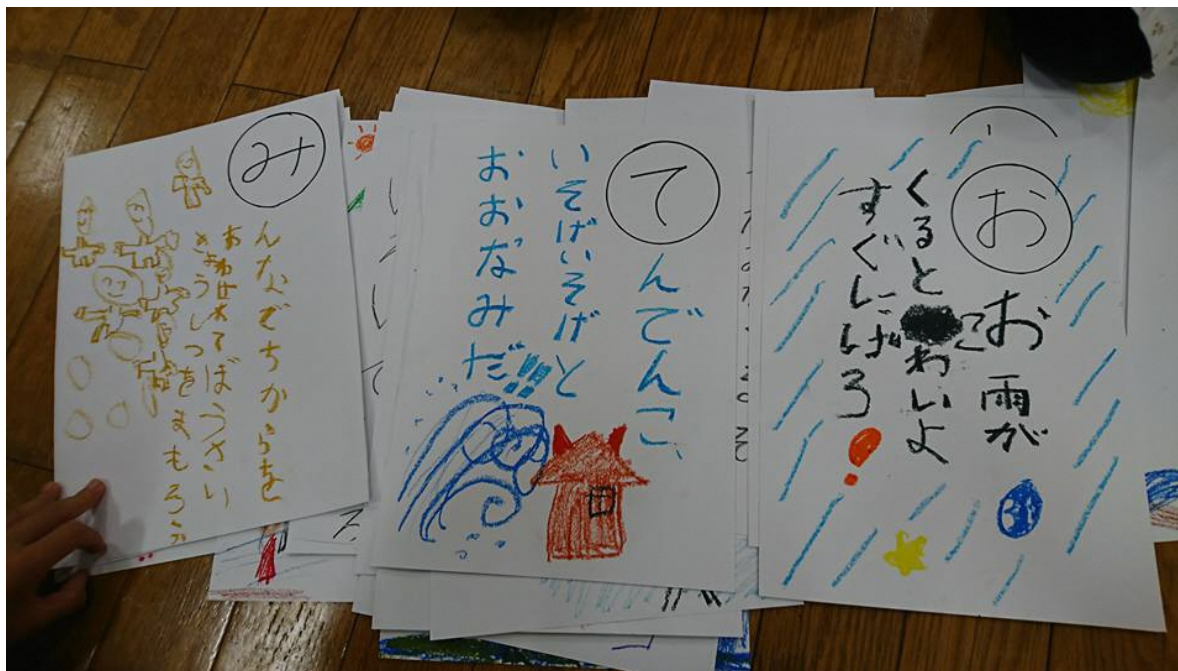
都筑区の  
子育て支援を有効  
活用できることを  
考えます





ちよこつと子育てレ  
スキュー隊の

そのさきにあるのは、  
すべての子どもたちの笑  
顔です



提案事業名 地域の子ども・青少年の防災力向上のための事業

てんでんこ金沢プロジェクト

2020.03.09実施報告会資料





# 活動報告

---

## ①防災スクール

小学生向け、保護者向け、一般向けの防災教育活動を実施

## ②出前防災教室

防災スクール等で得たノウハウを、学校・地域からの依頼を受け、年齢・対象に応じた出前防災教室を実施。

## ③ネットワーク形成・波及

金沢区内での防災を進めるネットワークの形成・区内外への波及

# ①防災スクール ア)小学生向けプログラム てんでんこスクール



地域が行う防災スクールとして、年4回の企画を実施。

4/29 防災ゲームの学校 41名参加

7/6 防災料理教室・救急法体験 26名参加

10/14 防災遠足 23名参加

1/25・26 防災キャンプ(宿泊) 19名参加



# ①防災スクール

## イ) 保護者向けプログラム

### てんでんこママスクール



地域が行う子育て中の保護者への意識啓発として、年2回の企画を実施。

子どもと一緒にてんでんこの意識を持つ家庭づくりを推進。

5/2 当事者の講話・調理実習 33名参加

8/23 防災料理教室・救急法体験 26名参加

(中止) 防災デイキャンプ(日帰り)



# ①防災スクール ウ)一般向けプログラム

地域が行う多くの方への意識啓発として、年3回の企画を実施。  
てんでんこの意識を持つ市民づくりを推進。

11/4 親子防災&アウトドアスキルアップセミナー 37名参加

12/8 NHKワークショップキャラバン「わが街のインクルーシブ防災」 32名参加

1/13 津波避難 てんでんこ競争 80名参加





## ②出前防災教室

---

地域・学校からの依頼を受け、防災講座・体験会等を実施。

てんでんこの意識を持つ地域づくりを推進。

6/2 葉山町災害ボランティアネットワーク総会 講演

9/22 富岡地区センターミニ講座 参加者無のため中止

10/27 釜利谷地区センター防災講座 参加者無のため中止

11/16 フォーラムKANAZAWA ワークショップ・紙芝居 約100名参加

11/16 南区はまっこキッズ連絡協議会KIDSBOUSAIワークショップ 約150名参加

2/15 瀬ヶ崎小学校地域防災拠点訓練児童向け授業プログラム協力 約360名参加



### ③ ネットワーク形成・波及

---

防災教育を進めるためのネットワークを形成・波及の取り組みを実施。

防災活動協力小学校:12校 中学校:5校 高等学校:1校

防災活動協力保育園:21

てんでんこニュース第四号、11月作成・5,000部発行

学齢期別防災教育プログラム事例集、11月作成 協力校に配布

逗子葉山地域に普及＝てんでんこ逗葉設立、防災教育プログラム実施協力



## 2年間の成果

- ・協働体制の確立 = 市・区・関係機関・てんでんこの協働の位置づけ確立
- ・防災教育プログラムの定着化 = 実施体制の明確化
- ・防災教育プログラムの効果 = 参加児童の成長
- ・学校での防災教育プログラム案の作成 = 協力校に提案配布
- ・新たな防災教育プログラムの構築 = てんでんこ競争等
- ・ネットワークの拡大と構築
  - = 協力小学校・中学校・高等学校・保育園の体制整備
  - = 独自の周知方法の確立
- ・他地域への拡大 = てんでんこ逗葉設立協力

## 2年間実施の効果

- ・防災意識・知識・対応が根付いた**子ども・青少年**の育成
- ・防災意識・知識・対応が根付いた**保護者・家庭**の育成
- ・防災意識・知識・対応が根付いた**支援者**の育成
- ・地域・学校・子育て支援施設・地域防災拠点など、  
子どもを取り巻く**防災協力ネットワーク**の構築
- ・防災活動の主軸となる年代層の**多世代化**
- ・以上の効果から、**実際の災害発生時の死亡者の減少、  
災害発生後の地域での助け合い**ができる地域に近づく







# 次年度の方向性

- ・次年度は、事業継続性、波及性、協働を検討した結果、  
**金沢区災害ボランティアネットワーク**の活動として位置付ける。
- ・プログラムを整理して実施する  
防災スクール年4回、ママパパぼうさいカフェ年1回、てんでんこ競争、とする。  
6/13(土)防災スクール防災遠足  
8/29(土)防災スクール救急法・クッキング／同時開催ママパパぼうさいカフェ  
10/17(土)防災スクール 金沢工業団地での災害ボランティア活動シミュレーション  
12/19(土)20(日)防災スクール防災キャンプ  
1/10(日)てんでんこ競争
- ・小学校等地域からの防災教育プログラム要請に協力する
- ・他地域災ボラへのてんでんこプログラム啓発を行う(横浜災ボラBブロック会議等)



---

いつ起こるかわからない災害に備える地域を  
楽しく楽しく作りたい  
てんでんこプロジェクト